

10/10 3:54

相 首 平時 の 財政 支援 増床 を 推進

岸田文雄首相は10日、新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、公的病院の専用病床を増やす意向を表明した。緊急時に一定の強制力を伴う協力を求める代わりに、平時の財政支援を充実させる方向で検討する。所信表明演説で言及したコロナ対応の法改正に盛り込みたい考えだ。首相就任後初めてとなる視察にコロナ患者を受け入れている病院を選び、看護師らの待遇改善にも意欲を示した。

【5回目】表題深層

東京都墨田区の都立墨東病院を視察後、記者団に「公的病院の専用病床化をはじめとする取り組みを具体的に進めていかなければいけない」と語彙した。

政府は、コロナ患者専用の病院や病棟を設けた医療機関を「重点医療機関」と定義。特に重症や中等症患者専用病床を増やした場合の課題を「車両対話を積み重ねる」と宣言していた。その第1弾として同病院の若手看護師らとの対話を実施。「現場で

じごる人の軽症調整や医師や看護師ら入材の確保だ。ウイルスが収束した後も経営を維持するための支援も必要になる。

首相は重点医療機関で平素から「感染拡大終息」を指す、「診療報酬を優遇する」とともに、緊急時には国が病床を平時割的に確保する」と語った。

動いて皆さんの収入についても、しっかりと結果を出していくなければならない」と感じた」と述べた。

政府は、コロナ患者専用の病院や病棟を設けた医療機関を「重点医療機関」と定義。特に重症や中等症患者専用病床を増やした場合の課題は、コロナ以外で入院し

る住組などを提唱した。首相周辺によると、病院への直當的な財政支援を検討する背景には、専門病院で離職が相次いだことがある。所信表明演説では、人出の抑制と医療資源確保のための法改正を行う方針を示し、「危機管理を抜本的に強化する」と訴えた。